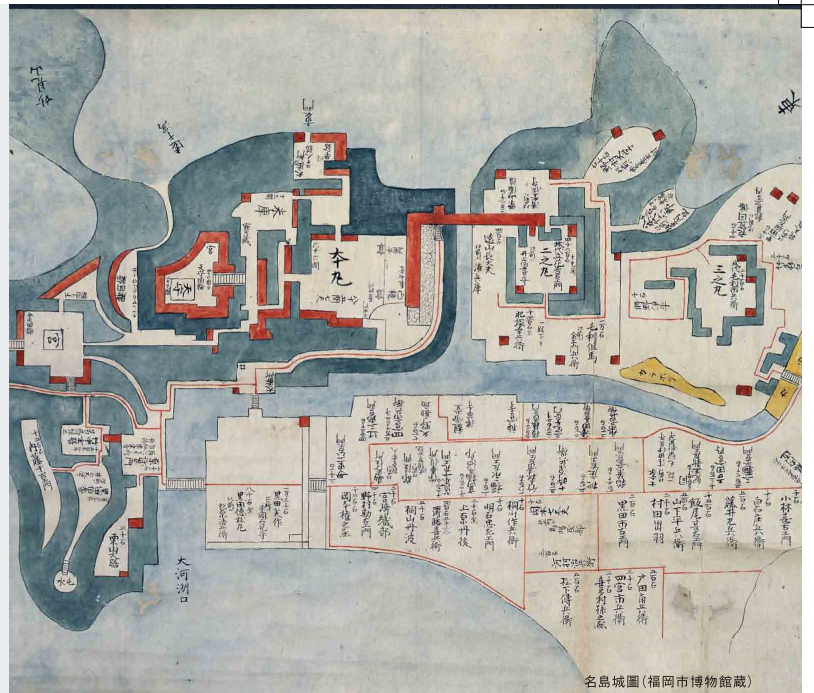


筑前國圖(宗像市教育委員会蔵)



名島城圖(福岡市博物館蔵)

展示概要

海の道むなかた館に時代とジャンルを超えた地図が大集合！日本でも最も古い地図は、約1300年前の奈良時代に作られました。その後現在に至るまで、地図は作成技術や表現方法を変えながら、私たちのくらしのなかで使われ続けています。この特別展では、日本最古の地図「東大寺開田図」から明治時代までの日本の地図のあゆみを概観するとともに、さまざまな目的で作られた地図を観ることで、同工異曲な地図の世界を堪能します。あわせて、近世の絵図に描かれた宗像の姿から、当時の景色に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

関連イベント

[記念講演] 地図から見た宗像の 地理とその活用

11.16 sat (10:00 ~ 11:30)

- [講師] 黒木貴一(福岡教育大学教授)
- [会場] 海の道むなかた館 講義室
- [定員] 80人(電話申込み / 0940-62-2600)

宗像大社境内ウォーキング

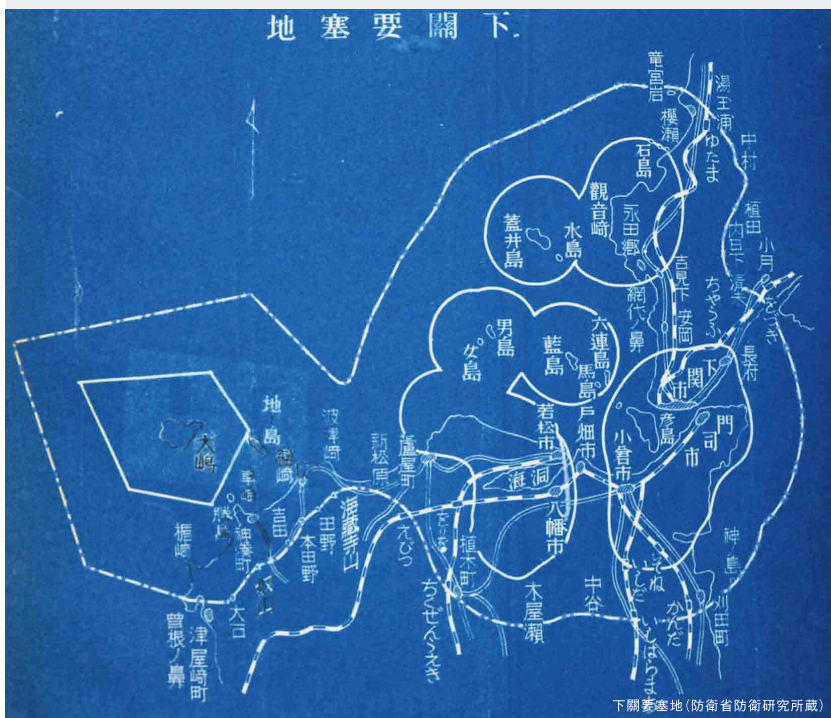
11.23 sat (13:30 ~ 14:30)

- [集合場所] 海の道むなかた館 体験学習室
- [講師] 河窪奈津子(宗像大社学芸員)
- [定員] 30人(電話申込み / 0940-62-2600)

小学生作成地図展覧会

11.2 sat → 12.19 thu

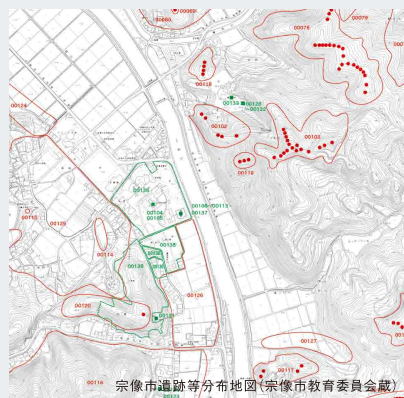
- [会場] 海の道むなかた館 体験学習室



下関要塞地(防衛省防衛研究所蔵)



国際航空図 大阪(海上保安庁蔵)



宗像市遺跡等分布地図(宗像市教育委員会蔵)